

平成 30 年度 第 3 回 産業医科大学倫理委員会議事抄録

1 日 時 平成 30 年 6 月 6 日 (水) 13 : 30 ~ 16 : 30

2 場 所 1609 会議室

3 出席者 (13 名)

学内 : 藤野(昭)、齋藤、原田、足立、矢寺、阿南、庄司、藤木、藤野(善)、檜本
学外 : 安元、田中、小川

欠席者 (3 名)

学内 : 中山、長野
学外 : 櫻井

4 報告事項等

(1) 平成 30 年度第 2 回産業医科大学倫理委員会議事抄録 (案) について

藤野(昭)委員長から、資料に基づき提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

(2) 平成 30 年度第 2 回専門委員会 (持ち回り) について

齋藤委員長から、審査結果等について、資料に基づき、次のとおり報告があった。

1) 平成 29 年度第 1 回及び第 2 回産業医科大学倫理委員会専門委員会議事抄録 (案) が原案どおり承認された。

2) 変更申請 2 件について指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で承認することとした。

(3) 平成 30 年度第 2 回迅速審査小委員会 (持ち回り) について

中山委員長にかわり、藤野(昭)委員長から、6 件の審査結果について、委員の指摘事項等に関する研究実施責任者の対応及び修正内容について委員長が確認したので、承認することとした、その内容は資料のとおりであるとの報告があった。

(4) 国立研究開発法人国立がん研究センター研究倫理審査委員会による JCOG 試験一括審査 (研究計画の変更申請) の結果について

藤野(昭)委員長から、以下の研究計画の変更申請が承認されたとの通知を受け、本学においても変更申請を許可したとの報告があった。

受付番号 第 CI2017-01 号

研究責任者: 産業医科大学病院 血液内科 診療教授 塚田 順一

研究課題名: JCOG1411: 未治療低腫瘍量進行期濾胞性リンパ腫に対するリツキシマブ療法
早期介入に関するランダム化比較第 III 相試験

(5) 「人を対象とした医学系研究倫理に関する講習会」(DVD) の開催について

藤野(昭)委員長から、6 月 21、22、25 日及び 7 月 2 日に開催予定であるとの報告があった。

(6) 産業医科大学認定臨床研究審査委員会設置のためのワーキンググループ報告

藤野(昭)委員長から、3 月から 5 月にかけて計 5 回開催され、臨床研究推進センター内に新たに臨床研究部門を設置するための体制を迅速に整備するとともに、臨床研究法に規定された研究実施計画の審査等を実施するための委員会 (産業医科大学臨床研究審査委員会等) を設置してい

く必要性などが確認されたとの報告があった。

5 審議事項等

(1) 有害事象報告について

研究実施責任者から、資料に基づき報告があり、その内容が承認された。

実施責任者：医学部 第1内科学 准教授 岡田 洋右

研究課題名：SGLT2阻害薬による動脈硬化予防の多施設共同ランダム化比較試験-PROTECT-
(第H28-247号)

報告内容：食事・運動療法の見直し、血糖コントロール目的で入院。研究内容との因果関係はない。

6 研究倫理審査

(1) 新規申請

① 実施責任者：医学部 第2内科学 講師 荒木 優

研究課題名：直接経口抗凝固薬の使い分けについての研究

審査要旨：事前審査の指摘事項に加え、以下の指摘事項があり、審査の結果、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

オプトアウトのための情報公開文書

7. 個人情報の取り扱い

本研究では、生体試料を取り扱わないので、1行目『や試料の整理簿』は削除する。

5行目『あなたに説明する場合など』という記述は、倫理審査研究計画書「7. 実施事項等における倫理的配慮について 6) 研究情報（結果を含む）の対象者への開示及び公表の方法」での記述内容（研究結果を開示する）を一致していないので、修正が必要である。

② 実施責任者：医学部 第2外科学 講師 市来 嘉伸

研究課題名：胸腺上皮性腫瘍の前方視的データベース研究

審査要旨：事前審査の指摘事項に加え、以下の指摘事項があり、審査の結果、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

7. 実施事項等における倫理的配慮について 2) 対象者のプライバシー確保に関する対策（個人情報等の取り扱い方法）

冒頭の2行は、後半の記述と重複しているので削除する。

参加者の方（患者さん）及び代諾者の方への説明文書

6. 研究対象者として選定された理由

項目名と記述内容が一致しておらず、わかりにくい。

③ 実施責任者：医学部 放射線科学 准教授 青木 隆敏

研究課題名：肺癌におけるCT所見とドライバー遺伝子変異との関連：機械学習を用いた検討

審査要旨：事前審査の指摘事項に加え、以下の指摘事項があり、審査の結果、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

7. 実施事項等における倫理的配慮について 2) 対象者のプライバシー確保に関する対策（個人情報等の取り扱い方法）

2～3行目『氏名、住所などの個人情報を全て匿名化し』は、『氏名、住所などの個人情報について』に改める。

オプトアウトのための情報公開文書

7. 個人情報の取り扱い

9行目『担当医師』は、『実施責任者』に改める。

④ 実施責任者： 産業生態科学研究所 健康開発科学 助教 西山 信吾

研究課題名： 休憩時の運動介入による、自律神経バランスとメンタルヘルスに対する改善効果の検証

審査要旨： 事前審査の指摘事項に加え、以下の指摘事項があり、審査の結果、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

7. 実施事項等における倫理的配慮について 2) 対象者のプライバシー確保に関する対策（個人情報等の取り扱い方法）

電子媒体も取り扱うのであれば、それについての記述が必要である。

参加企業安全衛生委員会委員長への依頼状

社員への参加を依頼する文章が必要である。

研究実施責任者は、企業から、社員の個人データを匿名化された状態で提供を受けることを記述する。

⑤ 実施責任者： 産業生態科学研究所 健康開発科学 助教 西山 信吾

研究課題名： 競争原理を生かした職域への運動介入が、労働者のメンタルヘルス、労働意欲、労働生産性に及ぼす効果

審査要旨： 事前審査の指摘事項に加え、以下の指摘事項があり、審査の結果、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 5) 方法 a) 研究デザイン

介入研究ということであるが、何を介入と考えているのか、整理が必要である。

観察群は、「8週間の通常生活」をするということであるが、通常生活において運動習慣のある人の扱いをどうするか、検討が必要ではないか。

⑥ 実施責任者： 医学部 放射線科学 講師 林田 佳子

研究課題名： 大腿骨近位骨折の描出能におけるニューラルネットワークを用いた機械学習の有用性の検討

審査要旨： 事前審査の指摘事項に加え、以下の指摘事項があり、審査の結果、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 5) 方法 b) 研究の具体的方法
3~4行目『コンバルジョン』は英語表記と不一致であり、修正が必要である。
6. 医学からみた客観的意義（研究の科学的合理性の根拠）
誤植がある。3行目 適格な → 的確な
7. 実施事項等における倫理的配慮について 2) 対象者のプライバシー確保に関する対策（個人情報の取り扱い方法）
5行目の『研究責任者』は、具体的に記述する。
7. 実施事項等における倫理的配慮について 8) 遺伝的特徴に関する重要な知見が得られる可能性がある場合、対象者に係る研究結果（偶発的所見を含む）の取扱い
誤植がある。2行目 実地分断者 → 実施分担者
8. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク 2) 対象者の負担及び予測されるリスク
誤植がある。3行目 漏泄 → 漏洩
8. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク 4) 対象者に不利益が生じた場合の措置方法
3行目『研究責任者及び研究者』は、修正が必要である。
12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の取扱い 1) 保管方法
帝京大学に画像データを提供すること、その方法についての記述を追加する。

オプトアウトのための情報公開文書

6. 研究の方法
7行目の『描出能』は患者が理解できる表現に修正が必要である。
7. 個人情報の取り扱い
1行目『あなたの個人情報は』は、『あなたから提供される個人を特定できる画像データは』に改め、記載例に沿った記述に変更する。また、計画書の記述と齟齬のないよう修正が必要である。

⑦ 実施責任者： 医学部 精神医学 教授 吉村 玲児

研究課題名： Trail Making Test、Stroop Test、California Verbal Learning Test (CVLT-II) 日本語版の標準化研究

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

1. 研究課題名
わかりづらい。『日本語版』を冒頭に移動してはどうか。
4. 実施概要 1) 研究の背景
誤植がある。9行目 認知呂域 → 認知領域
5. 実施計画 5) 方法 b) 研究の具体的方法
『研究事務局（独立行政法人国立精神・神経医療研究センター）』とあるが、「4. 実施概要 1) 研究の背景」冒頭には、『事務局は北海道大学大学院医学研究院精神医学教室（豊巻敦人特任助教が担当）である。』という記述があり、矛盾があるので、整理する。
8. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク 4) 対象者に不利益が生じた場合の措置方法
上の「3) 対象者の負担及び予測されるリスクを最小化する対策」にリスクについて

の記述がある以上、『不利益は生じないと考えられる』という記述は改める必要がある。

12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の取扱い 1) 保管方法

1行目『個人情報保管者』は、『研究実施責任者』に改める。

5行目『すべて秘密情報として考慮する』とあるが、何を考慮するのか。これに続く文章も意味不明であり、整理する必要がある。

12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の取扱い 2) 廃棄方法

2行目の『上記期間保管する』とあるが、研究終了後の具体的な保管期間についての記述がないので、追記が必要である。

他の研究機関に提供したデータ等の廃棄を確認することの記述を追加する。

14. 研究費の資金源と利益相反について

大日本製薬株が研究資金の提供をしていることについて、前の研究との関係性があるのであれば、経緯の説明が必要である。

参加者の方及び代諾者の方への説明文書

5. 研究の方法

神経心理検査として3つ説明があるが、検査の名称がわかりにくいので、検査①、検査②、検査③、検査④としてはどうか。

13. 試料・情報の保管及び廃棄の方法

1行目と4行目の『生体試料』は削除し、『研究データ』に修正する。

14. 研究の資金源等、研究機関の研究に係る利益相反及び個人の収益等、研究者等の研究に係る利益相反に関する状況

2行目の『賄われる』は『賄われます』に、3行目の『得ている』は『得ています』に改める。

再提出に際し、研究実施責任者から委員長に対し、研究の円滑な実施のため、認知機能検査を行うスタッフとして、経験豊富な者3名（准教授、学内講師、助教）を実施分担者として追加したいとの依頼があり、本件については、委員長が承認することとした。

⑧ 実施責任者：産業生態科学研究所 産業保健管理学 助教 永野 千景

研究課題名：日本国内の事業場における騒音障害防止対策の実態についての研究

審査要旨：審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画

該当する項目については、調査毎に記述する。

5. 実施計画 5) 方法 c) 統計解析方法

『統計解析は市販の統計ソフト（JMP など）を用いておこなう』は、不適切な表現であり、修正が必要である。

8. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク 2) 対象者の負担及び予測されるリスク

項目と記述内容が不一致である。

8. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク 3) 対象者の負担、予測されるリスクを最小化する対策

『不利益を被るおそれはない』は誤りであり、個人情報漏洩のリスクを最小化する対策を記述する。

8. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク 4) 対象者に不利益が生じた場合の措置方法

『不利益を被るおそれはない』は誤りであり、修正が必要である。

12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の取扱い 2) 廃棄方法
同意撤回後のデータの取扱いについての記述を追加する。

ご参加へのお願い文書

研究期間の記述を追加する。

対象者が所属する事業場向けの参加依頼状が必要である。

- ⑨ 実施責任者：産業生態科学研究所 産業保健管理学 助教 永野 千景
研究課題名：暑熱職場における熱中症防止のための適切な糖分摂取に関する研究
審査要旨：審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを
委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 5) 方法 a) 研究デザイン

この研究は、強力な介入研究と思われるので、熱中症に対する安全対策等について
該当項目に明記する必要がある。

参加者の方への説明文書

5. 研究の方法 1)

1 行目『7～11月の就業日の毎日』は5ヵ月間であり、倫理審査研究計画書の「5.
実施計画 5) 方法 b) 研究の具体的方法 ①」の記述『夏季の3～6か月間』との整合性を整理する必要がある。

12. 個人情報の取り扱い

血液以外は採取しないので、1行目『生体試料（血液や尿など）』は、『生体試料（血液）』に改める。

13. 試料・情報の保管及び廃棄の方法

5行目『直ちに同様の方法で廃棄します』は、同意撤回書の内容を踏まえ、『意思を確認した上で』を追記する。

15. 研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応

参加企業の産業医の氏名、連絡先について記述が必要である。

22. 侵襲（軽微な侵襲を除く。）を伴う研究であって介入を行うもの場合には、研究対象者の秘密が保全されることを前提として、モニタリングに従事する者及び監査に従事する者並びに倫理審査委員会が、必要な範囲内において当該研究対象者に関する試料・情報を閲覧することについて

『本研究では軽微な侵襲の可能性しかありませんので、モニタリングは実施しません』と正確に記述する。

企業（例えば安全衛生委員会委員長等）への研究参加に関する依頼状が必要である。

- ⑩ 実施責任者：医学部 リハビリテーション医学 助教 白石 純一郎
研究課題名：歩行アシストロボットを用いた歩行訓練の効果の検証

審査要旨:審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

4. 実施概要 1) 研究の背景

HONDA 歩行アシストが商標登録されているのであれば、右上に『®』が必要である。

14. 研究費の資金源と利益相反について

本田技研工業株式会社から HONDA 歩行アシストのリース料の援助を受けているのであれば、記述が必要である。

参加者の方(患者さん)への説明文書

5. 研究の方法

倫理審査研究計画書には、身体機能評価を行うとあるので、こちらにも記述が必要である。

7. 研究対象者に生じる利益、負担および予想されるリスク

1~2 行目の『研究に参加することの利益として、歩行の改善が得られ、今後の健康増進に役立てることができる』は現時点では明らかではなく、修正が必要である。

⑪ 実施責任者： 産業生態科学研究所 産業保健管理学 教授 堀江 正知

研究課題名： 暑熱な屋外環境における熱中症対策用品の検討

審査要旨:審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 3) 期間

『研究期間』は、『実施期間』に改める。

5. 実施計画 5) 方法 b) 研究の具体的方法

3 行目の対象を 3 群に分けることについては、その方法を具体的に記述する。

7 行目の問診票については、回答に要する時間を記述する。

13 行目の『各企画につき 1 人 1 回の測定を行う』は、『各企画において 1 人につき 1 回の測定を行う』のようにわかりやすい表現に改める。

8. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク 4) 対象者に不利益が生じた場合の措置方法

ここに書かれている内容は、上の「3) 対象者の負担、予測されるリスクを最小化する対策」に該当する内容である。

15. 対象者への経済的負担又は謝礼の有無とその内容

支払いの方法を具体的に記述する。

16. 知的財産権の発生について

本研究を本学に委託した(一財)気象業務支援センターが、知的財産権の帰属先に含まれていなくてよいのか、確認する必要がある。

参加者の方への説明文書

13. 試料・情報の保管及び廃棄の方法

3 行目の『生体試料及び』は、『測定データ及び』に改める。

⑫ 実施責任者： 産業生態科学研究所 精神保健学 教授 廣 尚典

研究課題名： 産業保健スタッフ等を対象としたストレスチェックの実施状況と課題に

関する調査研究

審査要旨：審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

4. 実施概要 1) 研究の背景

1～2行目『公益社団法人日本産業衛生学会理事会から同傘下研究会産業精神衛生研究会に委託された研究課題である』は、わかりにくいので修正が必要である。

修正した文章は、参加者の方への説明文書「研究の背景・目的・意義」の冒頭にも記述する。

5. 実施計画 5) 方法 b) 研究の具体的方法

1行目『対象となる産業保健スタッフ等 300名』は、「2) 対象者の目標人数」記載の人数と異なっている。

同一回答者による重複回答等の可能性についての対応を考慮する必要があるのではないか。

12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の取扱い 1) 保管方法

回答結果等を保存した記録用デバイスを保管する保管庫の設置場所を記述する。

参加者の方への説明文書

試料・情報の保管及び廃棄の方法

『また、同意を撤回された場合は、直ちに廃棄します』という表現は、同意の撤回によるデータの削除方法に関する説明が不足しているので、修正が必要である。

研究参加への同意

4行目『私が』は削除する。

(2) 新規申請（迅速審査）

① 実施責任者：医学部 皮膚科学 講師 澤田 雄宇

研究課題名：円形脱毛症における臨床的特徴と治療反応性の検討

審査要旨：審査の結果、「承認」とする。

② 実施責任者：産業医科大学病院 臨床検査・輸血部 部長、診療教授 竹内 正明

研究課題名：全自動左室容量・駆出率解析ソフト（Heart Model）の至適境界設定値の決定

審査要旨：審査の結果、「承認」とする。

③ 実施責任者：産業医科大学病院 臨床検査・輸血部 部長、診療教授 竹内 正明

研究課題名：2次元心エコー図による左室心筋仕事量の正常値と性差及び加齢の影響に関する検討

審査要旨：審査の結果、「承認」とする。

④ 実施責任者：産業医科大学病院 臨床検査・輸血部 部長、診療教授 竹内 正明

研究課題名：2次元心エコー図画像を用いた新しい左室機能自動解析ソフトウェアの正確性及び再現性に関する検討：後向き研究

審査要旨：審査の結果、「承認」とする。

- ⑤ 実施責任者： 医学部 皮膚科学 准教授 岡田 悦子
研究課題名： DPP-4 阻害薬関連類天疱瘡の実態調査
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ⑥ 実施責任者： 医学部 皮膚科学 講師 澤田 雄宇
研究課題名： 皮膚悪性腫瘍における TSLC1/CADM1 の生命予後への影響の検討
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。

(3) 変更申請

- ① 実施責任者： 医学部 神経内科学 教授 足立 弘明
研究課題名： FDG-PET によるアルツハイマー病の診断に関する多施設共同研究
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
なお、本件の審議及び議決にあたっては、研究実施責任者である足立委員は退席した。
- ② 実施責任者： 産業生態科学研究所 環境疫学 教授 藤野 善久
研究課題名： 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を用いた高齢者の健康状態の変遷に関する研究
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
なお、本件の審議及び議決にあたっては、研究実施責任者である藤野(善)委員は退席した。
- ③ 実施責任者： 医学部 第1内科学 教授 田中 良哉
研究課題名： 自己免疫疾患患者組織を用いた創薬標的分子の機能解析
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ④ 実施責任者： 医学部 精神医学 教授 吉村 玲児
研究課題名： 非接触バイタルセンシングシステムを用いたストレス評価方法の確立
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ⑤ 実施責任者： ストレス関連疾患予防センター 特任助教 宮崎 洋介
研究課題名： 過重労働による生体影響を反映するバイオリジカルモニタリング指標の探索
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ⑥ 実施責任者： 医学部 精神医学 助教 手銭 宏文
研究課題名： 休職中の気分障害勤労者への集団精神療法の効果
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ⑦ 実施責任者： 医学部 精神医学 講師 堀 輝
研究課題名： 精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。

- ⑧ 実施責任者：産業保健学部 産業・地域看護学 准教授 八谷 百合子
研究課題名：就寝前のストレッチによる睡眠への影響に関する研究
審査要旨：審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。
なお、本件の審議及び議決にあたっては、研究実施分担者である藤木委員は退席した。
- [指摘事項]
倫理審査変更申請書
3. 変更内容 項目
ページ番号 (P2) に誤りがある。
- ⑨ 実施責任者：産業医科大学病院 心臓血管外科 診療科長 西村 陽介
研究課題名：ATS-16mm 人工弁を使用した大動脈弁置換術後の予後調査
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ⑩ 実施責任者：産業医科大学病院 心臓血管外科 診療科長 西村 陽介
研究課題名：維持透析患者に対する開心術後の早期および長期成績
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ⑪ 実施責任者：産業医科大学病院 心臓血管外科 診療科長 西村 陽介
研究課題名：80歳以上の高齢者大動脈弁置換術後の予後調査
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ⑫ 実施責任者：産業医実務研修センター 准教授 川波 祥子
研究課題名：呼吸用保護具の着用が作業者の生理的指標に及ぼす影響
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ⑬ 実施責任者：医学部 公衆衛生学 助教 富岡 慎一
研究課題名：在宅医療による医療介護費用の抑制効果の検証に関する研究
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ⑭ 実施責任者：医学部 整形外科 准教授 中村 英一郎
研究課題名：勤労者の健康診断データを用いた運動器疾患の横断的・縦断的な疫学調査
-ロコモティブシンドローム予防のための勤労者世代からの転倒リスク解析-
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ⑮ 実施責任者：医学部 産科婦人科学 学内講師 栗田 智子
研究課題名：婦人科悪性腫瘍における腹水細胞または手術検体を応用した抗がん剤耐性機構の解明と新規薬剤の開発
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ⑯ 実施責任者：医学部 産科婦人科学 学内講師 栗田 智子
研究課題名：子宮頸癌に対する腹腔鏡下広汎子宮全摘出術の検討 (手術進行期分類 IA2 期、IB1 期または IIA1 期までの子宮頸癌に係るもの)

審査要旨：審査の結果、「承認」とする。

7 その他

(1) 研究終了報告 23 件及び進捗状況報告 48 件が承認された。

<終了報告> 23 件

- H24-017 実施責任者：医学部 第2内科学 学内講師 芳谷 英俊
研究課題名：心臓再同期療法（CRT）の効果発現機序：心室中隔機能改善の役割についての検討
- H25-209 実施責任者：医学部 第2内科学 教授 尾辻 豊
研究課題名：心臓MRIによるFeature trackingを用いた左室局所収縮能評価の試み
- H26-253 実施責任者：産業保健学部 成人・老年看護学 助教 豊福 佳代
研究課題名：胃切除術後患者へのICT（情報通信技術）を活用した食生活自己管理支援ツール開発に向けた基礎的研究
- H27-106 実施責任者：医学部 第2内科学 助教 林 篤志
研究課題名：僧帽弁逸脱症における左房拡大様式：3次元心エコーによる検討
- H27-150 実施責任者：産業生態科学研究所 精神保健学 教授 廣 尚典
研究課題名：小規模事業場における参加型職場環境改善の標準的方法の開発 ー事業主と従業員を対象としたメンタルヘルス対策に関する実態調査
- H27-196 実施責任者：産業保健学部 安全衛生マネジメント学 教授 三宅 晋司
研究課題名：空気環境の精神作業および生体反応へ及ぼす影響に関する研究
- H27-207 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 教授 矢寺 和博
研究課題名：ガイドシース併用気管支腔内超音波断層法を用いた気管支鏡による末梢型肺癌の診断関連因子の後方視的検討
- H27-227 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 教授 矢寺 和博
研究課題名：超音波気管支鏡ガイド下針生検における超音波所見・病理所見の比較と診断関連因子の後方視的検討
- H27-228 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 准教授 城戸 貴志
研究課題名：シェーグレン症候群における肺病変の検討
- H28-005 実施責任者：医学部 第2内科学 学内講師 福田 祥大
研究課題名：慢性心不全例においてミューラー手技を用いた負荷心エコーによる運動耐容能評価の試み
- H28-007 実施責任者：医学部 第2内科学 学内講師 福田 祥大
研究課題名： β 遮断剤が僧帽弁位人工弁置換術後の溶血に与える影響

- H28-134 実施責任者：産業生態科学研究所 精神保健学 教授 廣 尚典
研究課題名：小規模事業場の労働者を対象とした参加型職場環境改善の標準的方法の開発ー比較対照試験ー
- H28-198 実施責任者：産業保健学部 広域・発達看護学 講師 野元 由美
研究課題名：医療的ケアが必要なNICU入院児の在宅移行支援における訪問看護師の活動に関する研究ー訪問看護ステーションへの質問紙調査ー
- H28-235 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 准教授 城戸 貴志
研究課題名：気管支鏡検査当日の睡眠時における酸素飽和度の調査研究
- H29-049 実施責任者：産業保健学部 基礎看護学 助教 児玉 裕美
研究課題名：看護師の職場環境改善に関する介入研究の生理学的検討
- H29-091 実施責任者：医学部 進路指導副部長 准教授 一瀬 豊日
研究課題名：産業医需要供給実態調査ー新規産業医資格取得者を対象とした調査ー
- H29-150 実施責任者：医学部 産科婦人科学 講師 鏡 誠治
研究課題名：先進医療としての腹腔鏡下広汎子宮全摘術の実態に関する調査研究-JGOG 1081S-
- H29-160 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 学内講師 野口 真吾
研究課題名：成人肺炎診療ガイドライン2017にて定義された肺炎における耐性菌リスクの妥当性の検討
- H29-163 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 教授 矢寺 和博
研究課題名：膠原病を除く慢性線維化性間質性肺炎のCT画像診断における人工知能の有用性に関する多施設共同研究
- H29-194 実施責任者：産業生態科学研究所 精神保健学 教授 廣 尚典
研究課題名：ストレスチェック制度における医師による面接指導ガイドラインに関する研究
- H29-195 実施責任者：産業生態科学研究所 精神保健学 教授 廣 尚典
研究課題名：ストレスチェック制度における医師による面接指導ガイドラインに関する研究(2)
- H29-196 実施責任者：産業生態科学研究所 精神保健学 教授 廣 尚典
研究課題名：「職場におけるメンタルヘルス不調者の対応ガイドライン」の開発に関する研究
- H29-197 実施責任者：産業生態科学研究所 精神保健学 教授 廣 尚典
研究課題名：「職場におけるメンタルヘルス不調者の対応ガイドライン」の開発に関する研究(2)

<進捗状況報告> 48件

- 05-70 実施責任者：医学部 第2外科学 教授 田中 文啓
研究課題名：腫瘍抗原の同定及び解析
- 10-127 実施責任者：医学部 第2外科学 教授 田中 文啓
研究課題名：胸部悪性腫瘍における循環腫瘍細胞および循環内皮細胞の臨床的意義に関する研究
- H23-120 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 教授 矢寺 和博
研究課題名：電子顕微鏡を用いた間質性肺炎患者における気管支肺泡洗浄液中の粉じん解析
- H23-129 実施責任者：医学部 第2外科学 学内講師 田嶋 裕子
研究課題名：エストロゲン受容体陽性 HER2 陰性乳癌に対する S-1 術後療法ランダム化比較第Ⅲ相試験
- H23-158 実施責任者：医学部 第2外科学 教授 田中 文啓
研究課題名：全国肺癌登録調査：2012 年内科症例に対する登録研究
- H25-108 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 教授 矢寺 和博
研究課題名：肺の生活習慣病の克服を目指した医療ネットワークの構築
－喫煙関連呼吸器難病に対する前向きコホート研究－
- H26-003 実施責任者：医学部 第2外科学 教授 田中 文啓
研究課題名：微小肺病変に対するバーチャル気管支鏡ナビゲーションを利用した術前気管支鏡下マーキング
- H26-023 実施責任者：医学部 第2外科学 教授 田中 文啓
研究課題名：未治療進行・再発の非扁平上皮非小細胞肺癌を対象としたカルボプラチン＋パクリタキセル＋ベバシズマブ併用療法とシスプラチン＋ペメトレキセド＋ベバシズマブ併用療法のランダム化第Ⅱ相臨床試験
- H26-044 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 教授 矢寺 和博
研究課題名：肺癌化学療法時の低リスク群発熱性好中球減少症に対するシタフロキサシン (STFX) の効果と安全性を検討する第Ⅱ相試験
- H26-184 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 准教授 城戸 貴志
研究課題名：厚生労働科学研究委託業務（難治性疾患実用化研究事業）「びまん性肺疾患に対するエビデンスを構築する新規戦略的研究」特発性肺線維症（IPF）の進行防止におけるピルフェニドンおよびピルフェニドン＋N-アセチルシステイン（NAC）吸入併用療法に関する前向き多施設共同治療研究
- H26-224 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 講師 川波 敏則
研究課題名：肺 *Mycobacterium avium* complex 症におけるクリンダマイシンの有効性に関するオープン比較試験

- H26-226 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 教授 矢寺 和博
研究課題名：肺炎患者における肺炎球菌検出症例における臨床・細菌学的検討
- H26-230 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 教授 矢寺 和博
研究課題名：COPD（慢性閉塞性肺疾患）患者の気腫性病変の程度と増悪時の原因菌の後方視的な検討
- H27-030 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 教授 矢寺 和博
研究課題名：呼吸器疾患における一酸化窒素（NO）の役割の検討
- H27-032 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 講師 川波 敏則
研究課題名：16S ribosomal RNA 遺伝子を用いた慢性下気道感染症の進行の検討
- H27-094 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 准教授 城戸 貴志
研究課題名：気管支肺胞洗浄液を用いた肺リンパ腫の分子生物学的診断方法の確立
- H27-120 実施責任者：産業保健学部 安全衛生マネジメント学 教授 三宅 晋司
研究課題名：異なる教示方法における精神課題遂行中の生体反応に関する研究
- H27-127 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 准教授 城戸 貴志
研究課題名：びまん性肺疾患に特異的な核酸・タンパクの探索
- H27-180 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 准教授 城戸 貴志
研究課題名：抗線維化薬で治療を受ける特発性肺線維症患者の前向きコホート研究
- H27-192 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 准教授 城戸 貴志
研究課題名：特発性肺線維症に対するニンテダニブ効果予測バイオマーカーの前向き解析
- H27-225 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 教授 矢寺 和博
研究課題名：肺がん患者における自己抗体の検出および臨床的意義の検討
- H27-238 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 教授 矢寺 和博
研究課題名：びまん性肺疾患患者における自己抗体の検出および臨床的意義の検討
- H27-244 実施責任者：医学部 第2外科学 教授 田中 文啓
研究課題名：病理病期 IB 期非小細胞肺癌完全切除例に対する nab-Paclitaxel/Carboplatin 併用療法の feasibility study
- H28-012 実施責任者：医学部 第2外科学 教授 田中 文啓
研究課題名：全国肺癌登録調査：2010 年肺癌手術症例に対する登録研究
- H28-085 実施責任者：医学部 第2内科学 学内講師 福田 祥大
研究課題名：三尖弁交連部描出を目的とした2次元心エコーによる右室リードの位置評価の試み
- H28-102 実施責任者：医学部 第2外科学 教授 田中 文啓
研究課題名：高齢者非小細胞肺癌切除症例の術後補助化学療法に注目した前向き観察研究

- H28-112 実施責任者：医学部 第2外科学 教授 田中 文啓
研究課題名：微小肺病変に対する切除支援気管支鏡下肺マーキング法の非対照非盲
検単群試験
- H28-175 実施責任者：医学部 第2内科学 学内講師 福田 祥大
研究課題名：3次元心エコーを用いた三尖弁輪の正常値に関する研究
- H28-202 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 教授 矢寺 和博
研究課題名：間質性肺炎における一酸化窒素の役割に関する検討
- H28-207 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 教授 矢寺 和博
研究課題名：過敏性肺炎における免疫複合体の網羅解析
- H28-218 実施責任者：医学部 第2外科学 教授 田中 文啓
研究課題名：肺癌組織標本における免疫チェックポイント関連分子発現の検討
- H28-219 実施責任者：医学部 眼科学 助教 渡部 晃久
研究課題名：眼科医の手術執刀中の姿勢についての研究
- H28-220 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 教授 矢寺 和博
研究課題名：成人侵襲性肺炎球菌感染症患者における肺炎球菌株の莢膜血清型分布
および薬剤感受性に関する多施設共同観察研究
- H28-249 実施責任者：医学部 第2内科学 学内講師 岩瀧 麻衣
研究課題名：リウマチ性及び変性性僧帽弁狭窄症における構造と機能の相違に関する
検討
- H28-250 実施責任者：医学部 第2外科学 教授 田中 文啓
研究課題名：悪性胸膜中皮腫の前方視的データベース研究
- H28-251 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 教授 矢寺 和博
研究課題名：特発性間質性肺炎に対する多施設共同前向き観察研究 (NEJ030)
- H29-012 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 教授 矢寺 和博
研究課題名：第3世代 EGFR チロシンキナーゼ阻害薬効果予測における血漿遊離 DNA
の有用性について
- H29-017 実施責任者：医学部 第2外科学 教授 田中 文啓
研究課題名：間質性肺炎合併肺癌切除患者における術後急性増悪予測 リスクスコ
アバリデーションスタディ -多施設共同非介入前向き研究-
- H29-039 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 講師 川波 敏則
研究課題名：16S ribosomal RNA 遺伝子を用いた肺非結核性抗酸菌症および慢性下
気道感染症の進行の後方視的検討
- H29-102 実施責任者：医学部 第2外科学 教授 田中 文啓
研究課題名：第3世代 EGFR チロシンキナーゼ阻害剤効果予測における血漿遊離 DNA
の有用性についての研究

- H29-111 実施責任者：医学部 産科婦人科学 講師 鏡 誠治
研究課題名：ベバシズマブ既治療のプラチナ製剤抵抗性再発の上皮性卵巣がん、原発性腹膜がんにおける化学療法単剤に対する化学療法+ベバシズマブ併用のランダム化第Ⅱ相比較試験
- H29-134 実施責任者：医学部 第2外科学 教授 田中 文啓
研究課題名：PI3K/AKT/mTOR 経路の遺伝子変異を含む稀な遺伝子異常を有する小細胞肺癌の臨床病理学的、分子生物学的特徴を明らかにするための前向き観察研究 ver. 1.3
- H29-149 実施責任者：産業保健学部 安全衛生マネジメント学 教授 三宅 晋司
研究課題名：自律神経系指標によるストレス評価指標の検討
- H29-176 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 学内講師 野口 真吾
研究課題名：クラリスロマイシン長期投与の高齢者における肺炎抑制効果に関するランダム化比較試験
- H29-182 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 准教授 城戸 貴志
研究課題名：呼吸器疾患におけるペルオキシレドキシシン4のバイオマーカーとしての可能性の検討
- H29-191 実施責任者：医学部 第2外科学 助教 平井 文子
研究課題名：SCRUM-Japan 疾患レジストリを活用した新薬承認審査時の治験対照群データ作成のための前向き多施設共同研究 (SCRUM-Japan Registry) ver1.2
- H29-193 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 教授 矢寺 和博
研究課題名：特発性間質性肺障害、膠原病合併間質性肺障害における抗MDA5抗体の臨床的意義の解析
- H29-218 実施責任者：医学部 第2外科学 講師 市来 嘉伸
研究課題名：神経内分泌肺腫瘍切除症例における予後規定因子の解析